

平成 24 年度

開星中学校入学試験問題  
(1月入試)

(第1限 9:00~9:45)

国語

注意

誠 除 俳 覧 將

5 4 3 2 1

里 頂 郷 登 著  
雜 業 登 著  
者 亂 分 処

問一 次の文の——線部を漢字に直しなさい。

- 1 コトなる意見が出た。
- 2 ムズカしい問題を自分で解いた。
- 3 アヤマリを正しく直した。
- 4 イズミの水でコーヒーを入れる。
- 5 まいごの子どもをホゴする。

問四 次の漢字の太字の部分は、何画目ですか。数字で答えなさい。

- 1 本を書いた人。
- 2 山のてっぺんにのぼること。
- 3 生まれそだつた土地。
- 4 いらないものをしてすること。
- 5 ばらばらにみだれていること。

【第一問題】次の各問に答えなさい。

問一 次の文の——線部の読みを、ひらがなで書きなさい。

- 1 米の豊作を祝う。
- 2 貴重な植物を見つけた。
- 3 清潔な服装をする。
- 4 繁密な計画をたてる。
- 5 日米首脳会談が行われた。

問三 後の□の中から漢字を選び、次の意味にあてはまる二字の熟語を作りなさい。

- 1 「はじめ」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 問題は全部で3題あり、5ページまでです。
- 3 「はじめ」の合図があったら、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 5 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおき、解答用紙を裏返しにして机の上におきなさい。  
えんぴつ

問一 文中の（ ）内の①～③の文は順番が間違っています。正しい順に番号を並べ替えなさい。

問二 空欄 **A** ～ **D** の中に入るこ**とば**として最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| ア もし   | イ まるで | ウ しかし |
| エ しょせん | オ もはや | カ そして |

問三 文中に「森」と「人間」をたとえたものの組み合わせとしてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| ア 「森」……消費者 寄主 生産者  | ア 「人間」……カエル ヘビ 寄生虫  |
| イ 「森」……ヘビ 生産者 寄主   | イ 「人間」……消費者 寄生虫 カエル |
| ウ 「森」……寄主 生産者 カエル  | ウ 「人間」……ヘビ 寄生虫 消費者  |
| エ 「森」……カエル 寄生虫 生産者 | エ 「人間」……ヘビ 消費者 寄主   |

問四 —線部④「のべつまくなし」の意味を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 行ったり来たりするさま。 イ ひっきりなしに続くさま。  
ウ 後のことを考えないさま。 エ 必要もないのに行うさま。

問五 —線部⑤「自然界の眞の姿」とはどのようなことか、文中から二十字以内でぬき出しなさい。  
(句読点も一字に數えます)

問六 —線部⑥「私たちは知らなくてはならない」とあるが、なぜ知らなければいけないのか、文中のことばを使って三十五字以内で答えなさい。  
(句読点も一字に數えます)

問七 本文の内容として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 地球上で現在生き残っている寄生虫でも、その寄主が絶滅せざるを得なかつたことがある。

- イ これまで人間が築いてきた文明のおかげで、私たちは明るい未来が約束されているといえる。

- ウ 文明を築いてきた人間は、自然界でも食物連鎖の頂点に立つて地球上を制覇しているといえる。

- エ 人は自然を開発して様々なものをつくってきましたが、自然界においては消費者の立場でしかない。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

## 【『卒業ホームラン』（重松 清）より】

注  
ワインンドアップのモーション……振りかぶって投げる動作。  
ショートフライ……ピッチャーの左側に小さく上がったボール。

問一 空らん **A** の中に入る最もふさわしいことばを、文中からぬき出しなさい。

問二 空らん **B** の中に入る最もふさわしいことばを、漢字一字で答えなさい。

問三 ——線部①「すうっと重みが消えていった」時の徹夫の気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 三年生になつても球拾いでいいよと言った智にがっかりした。  
イ 球拾いでもいいから好きな野球を続けると言った智に安心した。  
ウ 中学ではもう野球はやりたくないと言った智に腹が立つた。  
エ 中学に入つたら別のスポーツにしたらと言った佳枝に失望した。

問四 ——線部②「忘れかけていた言葉」を、文中から十字以内でぬき出しなさい。

問五 ——線部③「そんなもの」がさしている内容を、文中から十字でぬき出しなさい。  
(句読点も一字に數えます)

問六 ——線部④「手は抜かない」とは、ここではどのようにするとか、二十字以内で答えなさい。  
(句読点も一字に數えます)

問七 ——線部⑤「だが、智は納得しきらない顔」とあるが、智はなぜ納得しなかったのか、三十字以内で答えなさい。  
(句読点も一字に數えます)

問八 ——線部⑥「玄関には、智より先に入るつもりだ」とあるが、その時の徹夫の気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 監督としてホームインをむかえてやろうという気持ち。  
イ 時の徹夫の気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。  
ウ 父親としてあたたかくむかえてやろうという気持ち。  
エ 父親としてホームランを祝つてやろうという気持ち。